

コース&プラン		空撮・スタビライザー撮影・ナレーション・トップのインタビュー対談のオールインワンバック トップの視点コース				空撮&簡単編集して、現地でデータ渡し 空撮シンプルエディット		空撮して、現地でそのままデータ渡し 空撮ポン		
		3日&スタジオ	2日&スタジオ	3日	2日	5フライト	3フライト	5フライト	3フライト	1フライト
料金	通常料金 (税抜)	1,780,000	1,540,000	1,470,000	1,230,000	370,000	300,000	290,000	220,000	150,000
	特別割引後ご提供料金 (税抜)	1,350,000	1,180,000	1,150,000	980,000	240,000	200,000	210,000	170,000	130,000
	その他の必要料金	次の費用が別途で必要になる場合があります。(料金は、料金一覧表でご確認ください) ●休業日が入る場合、休業日割増料金 ●撮影エリアによっては別途出張費/宿泊費/徒歩移動費/その他 ●国土交通省への申請が必要な撮影条件になる場合、国土交通省への提出書類作成費用(約20ページ) ●その他、条件下によるキャストやスタッフの増員など 【こじ空組】は、国土交通省への5回目の『1年間の包括申請』の更新を行い、次の内容にて、2017年3月14日より1年間の包括承認をいただきました。 料金表のオプション『国土交通省申請書類』に関しまして、次の内容での申請はオプション追加料金は発生致しません。(全項目とも、対象地域は日本全国) ・人口集中地区での空撮 ・対象物との距離30m以内での空撮 ・夜間飛行での空撮 ・目視外飛行による空撮								
納品物	映像関連	●完成品映像(約10分~15分) ・DVD-Videoディスク ・Blu-rayディスク ・PC用データ				●簡単編集後データ (時間:簡単編集した時間) ・PC用データ ※1		●撮影したままのデータ (撮影データ時間のまま) ・PC用データ		
	パネル関連	●空撮フルカラー写真パネル(約180cmx90cm)				—		※2		
	その他	オプションにて、静止画撮影も可能。(別途お見積り)				・オプションにて、静止画撮影も可能。(別途お見積り) ・PC用データだけでなく『DVD-Video形式ディスク』や『Blu-rayディスク』がご希望の場合 別途、データ変換&ディスク焼き込み費用となります。 ※3		—		
事前関連	事前の打ち合わせ & 現場下見	事前打ち合わせはお客様のところ&撮影場所、約3時間~5時間				事前打ち合わせ&撮影現場の下見無し ※4				
	撮影プランなど	(撮影プラン&簡単なシナリオ作成) 撮影日までにメールにてpdfファイル等で送付 ナレーション原稿については、※5を参照				撮影プラン無し、簡単なシナリオ作成無し				
撮影編集納品	撮影&編集の日数/時間	(全4日)	(全3日)	(全3日)	(全2日)	180分以内	150分以内	120分以内	90分以内	60分以内
	日程調整について	全日程は、連続日ではなく、飛び日でも大丈夫です。 (例:全2日の場合、4/5,6など連続日ではなく、4/25と5/1など) 双方の日程を調整して、全日程が、1ヶ月以内で調整。				天候や風の状況及び周辺の危険などを考慮				
	撮影~編集	現地で丸3日間 撮影&粗編集	撮影&粗編集を 現地で丸2日間	撮影&最終編集を 現地で丸3日間	撮影&最終編集を 現地で丸2日間	現地で 180分以内で 撮影	現地で 150分以内で 撮影	現地で 120分以内で 撮影	現地で 90分以内で 撮影	現地で 60分以内で 撮影
	ナレーション録音	スタジオで録音		現地にて			—			
	最終編集	スタジオで録音		現地にて			現地にて簡単編集		—	
	納品	映像関連は スタジオ録音の後、約1週間以内 パネルは、静止画撮影日の約1週間以内		映像関連は、最終日 パネルは、静止画撮影日の約1週間以内			PCデータにてその場で納品			
	天候などについて キャンセルについて	所要日程のうち、天候の良い日に空撮、別の日にそれ以外の撮影を実施。 雨天または風速8メートル以上の天候の時空撮出来ません。 (悪天候で全日程で空撮が不可能だった場合、日程再調整などは別途ご相談)				雨天または風速8メートル以上の天候の時空撮出来ません。 (キャンセル料金、日程再調整などは別途ご相談)				
空撮関連	空撮フライト数	5フライトx2日	5フライトx1日	5フライトx2日	5フライトx1日	5フライト	3フライト	5フライト	3フライト	1フライト
	1フライトについて	1回のフライトで飛行できる時間は約10分ですが、着陸などに消費するバッテリーを想定し、空撮可能時間は7~8分になります。								
	撮影現場について	フライト現場が複数で、機材車両を移動して行う場合(例:同一敷地内ではない本社と工場など。本社と営業所など。)には、条件により別途要相談となります。								
	国土交通省申請関連	平成27年12月10日から新導入されたドローンやラジコン機等の無人航空機の飛行ルールの規制に該当する場合には、事前に国土交通省への申請~承認が必要になります。 (人口密集地区での撮影その他) ※11 (料金は、料金一覧表でご確認ください)								
	事故と損害保険について	【第三者賠償責任保険への加入状況】 保険会社名:東京海上日動火災保険株式会社 商品名:賠償責任保険 補償金額:(対人)10億円(対物)10億円 対象機体:1機ごとに加入								
通常映像撮影関連	ジンバル等による社内等の撮影予定時間	約3時間~5時間				—				
	複数カメラによるトップのインタビュー撮影予定時間	約2時間~4時間 ※6				—				
	撮影現場について	撮影現場が複数で、機材車両を移動して行う場合(例:同一敷地内ではない本社と工場など。本社と営業所など。)には、条件により別途要相談となります。				—				
映像編集関連	編集時での追加素材の扱い	・既存の写真データ、約20枚以内 ・会社ロゴマークや商品等のマークもデータ形式であれば取り込み可能(基本数点)								
	エフェクト	・映像のトラジション部分(連結部分)のみにシンプルなエフェクトが基本								
	タイトル	オープニング								
	テロップ	10点程度								
人員	撮影関連スタッフ人数	●ドローンオペレーション&スタビライザーオペレーション&編集リーダー/1名 ●セーフティチーフ&カメラオペレーション&編集アシスタント /1名 ●セーフティスタッフ&編集アシスタント /1名 ※7 ▶『3日&スタジオ』コース及び『2日&スタジオ』コースのスタジオ録音日は編集リーダーのみとなります。				●ドローンオペレーション&編集 /1名		●ドローンオペレーション /1名		●サポートスタッフ /1名
	キャスト人数	ナレーション&インタビュー/1名 ※9				—		—		
オプション	空撮フライト追加	各プランごとの空撮フライト数に、さらに追加フライトをご希望の場合には、追加料金にてお引き受けいたします。(料金は、料金一覧表でご確認ください) ※10								
	国土交通省申請書類	※11 国土交通省申請書類作成~提出~許可証 (料金は、料金一覧表でご確認ください)								
	サウンドロゴ	(制作料金は、料金一覧表でご確認ください)								
	社歌	(通常はスリーコーラス3番まで) (制作料金は、料金一覧表でご確認ください)								
	ナレーション原稿	(料金は、料金一覧表でご確認ください)								

※1 簡単編集とは、不要な撮影部分を削除してシンプルに繋ぎ合わせて編集したものです。
 ※2 空撮フルカラー写真パネル(約180cmx90cm)をご希望の場合には、1部100,000円(税別)にてお引き受けいたしますが、納品は、約1週間後となります。
 ※3 『DVD-Video形式ディスク』や『Blu-rayディスク』の、データ変換&ディスク焼き込み費用:各1枚:10,000円(税別)
 ※4 事前打ち合わせ&撮影現場の下見が必要な場合には、別途オプションになります。(1回3時間以内・80,000円)。また、エリアがサービスエリア以外の場合、さらに出張費が加算されます。
 ※5 ナレーション原稿の書き起こしを依頼する場合には、別途オプションになります。(料金は、料金一覧表でご確認ください)
 ※6 別途、次の時間も必要となります。(準備:約1時間、撤収:約30分) 『トップの対談シーン』を撮影&編集せずに『空撮&スタビライザー撮影にナレーションを入れたPVがご希望』の場合、別途お見積りも致します。
 ※7 事前の現地下見時に、撮影状況をイメージ判断し、安全確保のため、サポートスタッフを増員させていただくケースもあります。
 ※8 GoogleMapなどで、事前に現地を確認し、撮影状況をイメージ判断し、安全確保のため、サポートスタッフを増員させていただくケースもあります。
 ※9 ナレーションとトップ対談のインタビューは、同じキャストに行います。もし、それぞれ異なるキャストをご希望の場合には、別途オプション料金追加されます。(料金は、料金一覧表の赤字の※を参照ください)
 ※10 空撮当日にフライトの追加オーダーをいただいた場合、次の日程との時間調整が難しい等でお受けできない場合がございますので、早めのオーダーをお勧めいたします。
 ※11 平成27年12月9日から新たに導入されたドローンやラジコン機等の無人航空機の飛行ルールの規制に該当する場合(人口密集地区での撮影その他)には、事前に国土交通省への申請~承認が必要になります。